

第4回 地元協議会 質疑等・回答一覧

開催日：令和5年3月19日

多摩清掃工場施設老朽化対応の基本方針について

| 質 疑 等 | 回 答 |
|--|--|
| 多摩市のごみは増えてる方向にあるんですか。 | 皆様のご協力のおかげで減少傾向になっています。 |
| 新しい工場は、現施設のある、空いている敷地に建てるということでしょうか。 | はい。現在搬入されるごみを処理しながら、現施設の空いている敷地に新しい工場を建てることを検討しています。 |
| 新しい施設をここに作ることは、どういう経緯で決まるのか教えてください。何か手続きなどがないと、地域の中で説明しづらいと思っています。 | まず廃棄物の処理を止めないために、現施設を稼働しながら、次の施設を建設することが第一前提になります。 多摩清掃工場は多摩ニュータウンの開発に伴って計画され、清掃工場は多摩市に、斎場は町田市に、墓苑は八王子市に、下水処理施設は稲城市にそれぞれ作るものとなりました。これにより関係各市合意のもとに、ニュータウンを開発した東京都、都市再生機構、東京都住宅供給公社及び構成3市の出費により建設された経緯があります。 建替え時は、成り立ちの経緯を含めて検討することが必要と考えています。 この間、公害防止、清掃工場の安全かつ安定した稼働を最優先に取り組んできたこと、また当時のご要望事項等にも誠実にお応えしてきたことを評価いただき、基本的には現施設のあるこの場所で建てたいと考えています。 今後、新施設の場所を決める手続き等の方法については検討していきたいと思っております。 |

中期経営計画ビジョン2027について

| 質 疑 等 | 回 答 |
|--|--|
| 中期経営計画ビジョン2027の中で、リチウムイオン電池の処理検討とはどういうことでしょうか。 | 機械的に効率よく分ける方法を考えていく必要があります。また出し方についても考えなければいけません。 現在、リチウムイオン電池だけ集めることにより有価で売却できるタイミングにあります。 そうすることで、発火の可能性がある機械的な処理を行わなくて済むなど、安全に処理ができる方法を検討していくということです。 |